



師走に衆議院総選挙と 国民の反応

安倍首相の消費税10%への引き上げを2017年4月まで延期するとの判断(重大な変更)に国民の信を問うとする衆議院解散、衆議院議員総選挙となった理由であるが、圧倒的多数の与党(自民党295人、公明党31人)の立場でしかできない技と見ている。

今回の選挙は上記理由以上に、安全保障上の閣議決定した「憲法解釈による集団的自衛権の

行使容認」とか、原発再稼働方針の原発政策、特定秘密保護法等の取扱いがあるように思える。経済再生、財政健全化へアベノミクスしかないとする与党に対し格差拡大アベノミクス失敗を唱える野党の選挙戦となるようだ。12月2日公示の14日投開票と、国民にとって「猫の手も借りたい」師走の忙しい時期に選挙戦・当落発表となる今年の12月は恒例のお歳暮商戦、クリスマス商戦と相まって、しまいには猫も踊りだす状況になりそうだ。投票数が減りそうだ。何はともあれ、これからの日本をどの様にするか大切な選挙になることは間違いない。

(TO 記)

表紙写真 地球深部探査船「ちきゅう」

(全長210m、総トン数56,752トン、船底からの高さ130m、建造完成2005年7月29日)

「ちきゅう」は大水深、大深度での掘削を可能にする科学掘削船です。

「ちきゅう」は、巨大地震発生のしくみ、地球規模の環境変動、地球内部エネルギーに支えられた地下生命圏、海底資源の成因など、人類の未来を開く様々な成果をあげることを目指しています。

編集後記

多くの方々の、投稿によって内容の充実したものとなりました。主要な記事である「北から南から」については従来の商船系高専5校の記事も内容が充実したばかりでなく、今回から新しく航海訓練所からも「便り」を頂くことになりました。

大島商船練習船防長丸の遭難慰霊の旅については、全船協80周年「全船協ウィーク in 帆船 日本丸」の記念展示パネルでも紹介されており、神津島の地元の方々の胸に今も深く刻み込まれておられることについて感銘しました。函館水産高校からの投稿は「北から南から」としてお願いしましたが、旧函館商船学校跡地に設立されている同高校が同商船学校の伝統を今でも引継ぎ、函館に入港した航海訓練所練習船が出航する度に「UW」旗で見送る素晴らしい報告のため、あえて「北から南から」引き離して前面に掲載しました。このように今回の投稿には、人の心に訴える素晴らしいものを頂きました。今後の会報も、このような素晴らしい投稿があることを願っています。(MS 記)

全船協 No.127 新春号

平成27年1月 発行

◇発行所 (一社) 日本船舶職員協会 ◇編集兼発行人 及川 武司

〒101-0053 東京都千代田区神田神保町2-2-34 千代田三信ビル 8階

TEL 03-3230-2651 FAX 03-3230-2653

E-mail: honbu@zensenkyo.com ※メールアドレスが、1月から変更になります。